



ただいまと
おかえりなさいが
待つ街へ

うすい たくや 卓也 36歳

頒布責任者：神野重徳／奈良県橿原市大軽町289-8 印刷者：アイディーエージェンシー／奈良県橿原市土橋町225-11

2/2日 橿原市議会議員選挙

期日前
投票

1/27>>2/1

僕は、学生時代と社会人時代を橿原市で過ごしました。

奈良県立畝傍高等学校に進学し、剣道部の主将として文武に励みました。
通学にはJR畝傍駅を利用し、
練習後には大和八木駅前で学割うどんを食べました。

大学生になり、二十歳を超えてからは、
駅前の居酒屋さんで友人たちと夢を語り合い、
社会人として教育者になってからは、
橿原市に住む子どもたちに生きる道を伝えてきました。

そんな僕の世代には、仕事や結婚で他府県に移り住み、
盆と正月にしか帰省できない人が大勢います。
生まれ育った土地を離れて暮らすということは、
必ずしも幸せなことばかりではないと思います。

だからこそ地元に戻ってきた時には、
「やっぱりここは良いな」と
ホッと出来るような街にしたい。

地元を離れていなくても、
学校や仕事から帰ってきた時には、
「ただいま」と「おかえりなさい」が響くような
あたたかい家庭をサポートしたい。

一人暮らしや共働きでも、
夕暮れの帰り道を歩く時には、
「今日も一日おつかれさま」とやさしく
包んでくれるような街の雰囲気になりたい。

そんな心休まるあたたかい街にすることが、
僕の想いです。

うすい たくや
臼井 卓也 36歳

1988年2月24日生まれ／橿原市見瀬町在住

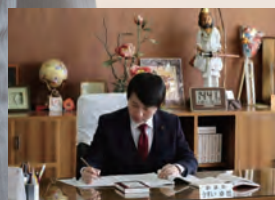


略歴

- 奈良県立畝傍高等学校、関西大学 卒業
- 衆議院議員 馬淵澄夫事務所 元インターン
- 教育関連会社 代表
- 橿原市議会議員(2期目・最年少)
- 2022年副議長、市庁舎建設事業等に関する特別委員長 等を歴任
- 立憲民主党奈良県連 選対委員長

趣味・好きなもの

映画鑑賞／読書／スポーツ／落語を聞くこと／ねこと遊ぶこと
白ご飯・味噌汁・ミートボール



「あなたに届ける、
あなたと歩む」

＼これまでの活動をSNSで配信中／



うすい卓也の志

政新誠意

新しい政治を、誠の意志で



160万円。

これは橿原市議会議員選挙における、私たち一票あたりの値段です。

橿原市の年間予算である約400億円に市議会任期の4年をかけて、有権者数の約10万人で割ると、一票あたりの価値が割り出されます。

議員とは、あなたの代弁者です。一枚160万円の大事な投票券は、自分の4年間で託すことが出来る人へのバトンです。

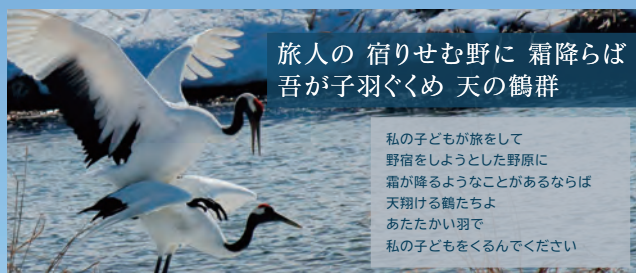
18歳の高校生なら、大学を卒業するまでの4年間。61歳の会社員なら、定年までの4年間。2歳のお子さんを持つご家庭なら、その子が小学校に上がるまでの4年間。

「うすいやったら任せられる」と、これからもそのバトンを渡してもらえよう議員であり続けます。

はぐくみの街

あたたかい安心を

「はぐくみ」という言葉は、万葉集に納められている一篇の和歌に由来します。



この「羽ぐくめ」という表現が転じて、「はぐくみ(育み)」という言葉になりました。

私たちは、奈良時代に生まれた、この優しく愛情の溢れる言葉を、今一度、現代に活かさなければなりません。

○親鳥がひな鳥を守るように、お父さんやお母さんが安心して、子どもを育てられる街。

○街全体が暖かい羽となり、お年寄りや心身の不自由な人たちを支えられる街。

○地元の産業や商業、農業を大切に育て、より大きく発展していく街。

「はぐくみの街」というフレーズには、橿原市が目指すべき3つの目標が含まれており、それを指針として政治に携わることが、僕の使命だと考えています。

顔の見える政治

何よりもまず、あなたから



僕には、小さな散髪屋を営む父がいます。

また、高齢の祖母、医療や介護、交通や教育の仕事に携わる家族もいます。

毎日の仕事や生活の中で、何に喜び、怒り、悩むかは、一言で「家族」といっても一人ひとり異なります。

同様に「市民」という言葉も、「あなた」という一人の個人が集まってはじめて、「市民」と呼ばれます。

橿原市には、人の数だけ、家庭の数だけ課題があります。

買い物で値札を見てはため息をつく、ささやかな贅沢も難しい今、政治のあり方が問われています。

誰のための政治なのか、政治の役割は何か。

今こそ原点に戻る時です。

一人ひとりの価値観や生き方、悩みに寄り添い、アイデアで、政策で、課題を超えていく。

その先に、皆さんの笑顔が見える。

僕は、あなたの顔の見える政治を大切にします。